

海外建設プロジェクトのリスク管理

海外建設工事における主要リスクとその対処方法

-- 実例から学ぶ --

2015年4月

一般社団法人 海外建設協会

目 次

序	1
---	---

リスクの実例と解説

(改訂版の発行に当たり*印を付した事例を追加した。また、その他の事例については、解説の見直しを加えている。)

<入札・交渉から契約までに関わるリスク事例>

1. 入札後、契約までの間に知らないうちに現場の状況が変わっていた	5
2. 入札有効期限の延長を繰り返していたら物価が高騰していた	9
3. 契約交渉で勝ち取った条件が契約書に反映されなかった	11
4. 契約交渉中に曖昧な条項の意味を確認したら藪蛇になった	15
5. 代案入札をして総価契約（ランプサム契約）で受注したら精算で苦勞した	17

<発注者に関わるリスク事例>

6. 発注者の求めに応じて付加価値税額の支払いを猶予したが、これを回収するのに苦勞した	19
7. 円借款案件で、発注者が手配するはずの自己ファイナンス(Co-Finance)ができず、工事の完成が危ぶまれた	21
8. 発注者が輸入材の免税制度を利用するために自分で材料の輸入調達をした結果、請負者の収支計画に悪影響が出た	24
9. 契約上の「発注者」がプロジェクトオーナー自身でなかったため、発注者に対するクレームがうまくいかなかった	26
*10. アーキテクトの義務の懈怠は発注者の責任となるか	29

<JVに関わるリスク事例>

11. 地元の会社とのJV契約で、政府の干渉により不当に大きな責任を負わされた	32
12. JV協定の規定が不十分で、JVの意思決定がうまくいかなかった	36

<下請契約に関わるリスク事例>

13. 下請契約の単価変更（値下げ）を口頭で合意したが、契約未締結の状態で施工し、後に変更前の高い単価で請求をされた	38
--	----

- 14. 指定下請業者の設計と施工の不具合の責任を、元請である当社が負わなければならないとなった……………41
- 15. 発注者が推薦した下請業者の能力不足で大きな問題が生じた……………45

<工事用地引き渡しに関わるリスク事例>

- 16. 発注者からの工事用地引渡しが長期に亘り遅れて、着工できないまま費用負担が生じているが、契約上、追加費用が認められない……………47
- 17. 発注者が土地収用に手間取り、着工後に工事が1ヵ月に亘り中断した……………49

<着工命令遅延に関わるリスク事例>

- 18. プロジェクトファイナンスによる BOT/EPC 契約で着工命令が大幅に遅延し、EPC コントラクターに待機費用などの損失が発生した……………51
- *19. 既存施設 (Utilities)、埋設物の移設・除去について発注者側の遅れに伴う着工・工事の遅れが発生した……………55

<気象・気候に関わるリスク事例>

- 20. 気象条件が請負者のリスクとされたので増水で苦勞した……………59
- 21. 乾季と雨季の作業効率が同じ前提で契約をしたら、工事数量の増加によって盛土工事が雨季にかかり、回復できない追加出費が生じた……………63

<技術仕様書の解釈に関わるリスク事例>

- 22. エンジニアが技術仕様合致する材料を拒否した……………65
- 23. エンジニアが技術仕様を超える要求を押し付けた……………68

<数量明細書 (BQ) に関わるリスク事例>

- 24. 発注者が高単価の工事を契約工事項目から削除して自分で施工した……………70
- 25. エンジニアが数量明細書数量を超える出来高の請求を拒否した……………73
- 26. コスト割れの単価の工事項目を大量に追加要求され、大幅な赤字が予測されたが、契約で追加変更の上限を定めていたので、食い止めることができた……………75
- 27. 発注者側の内部の管理規則により、数量精算契約の BQ 数量を超える出来高がなかなか認められず、その支払いが大幅に遅れた……………78
- 28. 暫定金額 (Provisional Sums) に含まれた「保険」項目にアテンダンスフィーは付くか……………80

＜出来高・追加工事の支払拒否に関わるリスク事例＞

- 29. 発注者（国際合弁）が支払いの一部を拒否し、追加変更の交渉にも応じ
ない……………82
- 30. 発注者が契約条項を守らず、支払いを遅延し、エンジニアが認める工期
延長・追加工事を否認した……………85
- *31. 設計変更に関わる間接工事費に不足が生じた……………88

＜契約管理体制に関わるリスク事例＞

- 32. 請負者としての契約管理が欠如していたために追加工事の処理などで損失
が出た……………92
- *33. 用地買収遅延とそれに伴う設計変更、大幅な物価上昇、予備費不足等の
何重苦の状況を連携で乗り切る……………95

＜ボンド・保険に関わるリスク事例＞

- *34. ボンドがその内容からオンデマンドでないとされた……………99
- *35. 請負者の過失が発注者の建設工事保険でカバーされなかった……………103

＜為替・物価に関わるリスク事例＞

- 36. 工事期間中の工事資金立替分を円で調達したら、後日為替差損が生じた
……………106
- 37. 全額現地通貨建ての契約で、工期中にアジア通貨危機で現地通貨が暴落し
大きな為替差損を被った……………108
- 38. 契約期間中にアジア通貨危機が発生し物価が暴騰した……………110

＜法令変更に関わるリスク事例＞

- 39. 法令が変更され、余計な出費が発生した……………111
- 40. 法令が変更され、予定外の税負担が生じたが、法変更のリスクを請負者が
負うことになっていたのでどうしようもなかった……………113

＜竣工証明に関わるリスク事例＞

- 41. 竣工時全額払いの延払い条件で契約したが、アーキテクトの竣工証明の
遅れで余分な金利負担が発生した……………114

<保留金に関わるリスク事例>

- 42. 保留金の解除条件を発注者が守らなかった……………118
- 43. プロジェクトが工事途中で中止となり、精算で保留金が支払われないなどのトラブルが生じた……………120

